

謹賀新年



皆さまには輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は鳥取県中部地震が発生し、本町でも震度4を記録しました。各地の被災された皆さまにお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を目指し、本町でも取り組みを進めてまいります。

世界ではイギリスのEU離脱、アメリカではトランプ氏大統領選勝利、近隣諸国の動向、また我が国の本格的な人口減少社会の到来など「時代の転換期」を感じます。

さて、本町では4項目を施策の重点テーマとし、取り組みを進めてまいりました。

少子化・定住対策では、子育て支援室を設置し、子育て世代包括支援センター「すくすくおやこステーション」の充実、保育料の一部無償化に加え、家庭保育支援給付金事業の創設、また官民による宅地分譲や定住促進助成の実施。

健康対策では「まいったなし健康づくり」を掲げ、食・健康・運動の三本柱の推進。特

に産学官連携し、運動の輪を広げるカーブス（女性向け）事業が、さらに男性向けとして「ブルーディア」を全国初でスタートし、事業展開されています。

産業振興では、農業の新規就農者の増加や商工会による食グルメ等の取り組み、また平成30年の大山開山1300年に向け、日本遺産認定や大山寺旧境内の国史跡指定。御来屋駅舎の国登録有形文化財認定、そして大山隠岐国立公園のナショナルパーク化への選定等、地域活性化への取り組みを進めています。

町民参画では地域自主組織・まちづくり地区会議の活動の進展や各サークル・集落活動の活発化。また、地域おこし協力隊など若者による地域づくりも進んでいます。

さて、策定した第二次総合計画「未来づくり10年プラン」では、大山の恵みを活かすこれまでの取り組みを土台とし、さらに充実させていきます。その基本理念（テーマ）は「楽しさ自給率の高いまちへ」です。「楽しさ」には愉



大山町長

森田 増 範

快・楽しいなど感性的なことと、もっと根源的な「やりがい・いきがい」があります。そこには厳しさの中でも目標に向かって積み上げていく「努力・頑張り」もあります。そして、充実感・達成感こそ「楽しさ」の実感につながります。様々な分野で町民すべての皆さん一人ひとりが、この「楽しさ」を改めて意識し、さらに行動し輪を広げつな

がっていき、仲間を広げていく。点が線となり線が面へと進み「楽しさ自給率の高いまちへ」官民一体で展開していくことが、この「未来づくり10年プラン」の取り組みです。

有し、「大山さんのおかげ」でもある豊かでおいしい水をいただき、日々あたりまえのように平穏な生活を営んでいる私たちの町は、実は全国にも稀な、魅力あふれるエリアなのです。

私たちの誇るさまざまな宝をさらに磨き上げ、大山開山1300年を機に、全国に世界に情報発信し、元気でにぎわいのある、いつまでも暮らしたい楽しさあふれる町づくりを目指したいと存じます。

日本海から国立公園大山まで、さまざまな大山の恵みを

町民の皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げますとともに、ご健勝・ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。